

(様式4)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	4 0	学校名	宇都宮市立城山西小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	-------------

平成30年度 健康(体力・保健・食・安全)に関する取組

1 健康(体力・保健・食・安全に関する主な実態)

(1) 定期健康診断・元気っ子健康体力チェックから(※全国平均は平成29年度の統計調査結果)

- ・本校児童の体格について、5年男子と2・3・5・6年女子については、身長・体重ともに全国平均を上回っている。2・4年男子と1年女子は身長のみ、6年男子は体重のみ全国平均を上回っている。1年生は全国平均と比較して全体的に体格が小さく、普段の給食指導での様子を見ていると、食べる量が少ないように感じられる。
- ・視力低下がみられる児童(B～Dの児童)は、学校全体で28.3%であり、全国平均(31.5%)より少なくなっている。学年別にみると、4年生は全員Aであり、6年生の半数以上の児童がB以下という結果だった。全国の視力低下がみられる者を学校別にみると、小学校は31.5%、中学校は54.6%、高校は66.0%である。
- ・う歯の罹患率は、全国平均の48.9%(平成28年度)と比較して、本校は45.1%と低くなっているが、昨年度の本校のデータと比較すると、0.8%上昇してしている。また、処置歯率は61.9%と、本校の昨年度と比較して20.7%も減少している。
少人数の中のデータなので、一人のデータで大きく左右するため、個別的指導が重要である。
- ・給食農園では、栽培する野菜の農事暦を作成して計画的に栽培しているので、給食に旬の野菜をふんだんに取り入れることができる。清掃の時間に草取りや収穫の活動を組み込んでいるため、ほとんどの児童が定期的に農園と関わるのができた。ただ、真夏の水やりや収穫など毎日作業が必要な時期には、職員が作業をしたりボランティアの協力を得たりしている。
- ・給食は、本校の大きな特徴の一つで、全学年児童・全職員と一緒に食べる給食である。アットホームな雰囲気の中で、先生や班の友達との会話を楽しみながら食事をしている。その中で、生産者の方々・調理員の方々に感謝する気持ちをもつことや、食事のマナー・文化について、栄養と体の成長についてなど、食に関する知識を知り、身に付けられるよう食育の指導に力を入れている。

- ・体力テストの結果は以下の通りであった。

(2) 結果

- ・全国・県平均と比べ、優位の値を示したもの

【6年生 女子】

	全国平均	県平均	学校平均
50m走	9.12	9.22	8.48

【5年生 男子】

	全国平均	県平均	学校平均
上体起こし	20.64	19.51	24.60

- ・全国・県平均と比べ、劣位の値を示したもの

【1年生 男子】

	全国平均	県平均	学校平均
握力	9.45	9.01	7.40
立ち幅跳び	114.68	111.56	100.50

【2年生女子】

	全国平均	県平均	学校平均
立ち幅跳び	1 1 7 . 1 2	1 1 4 . 7 8	1 0 4 . 8 2

【3年生 男子】

	全国平均	県平均	学校平均
立ち幅跳び	1 3 6 . 8 0	1 3 2 . 8 9	1 1 9 . 2 7

【4年生 男子】

	全国平均	県平均	学校平均
長座体前屈	3 1 . 4 7	3 0 . 1 5	2 5 . 7 7

総合でA評価を獲得した男子児童は、4年生で1名、5年生で1名、6年生で1名と決して多くはない。

一方、女子では1年生で1名、2年生で1名、3年生で2名、5年生で2名、6年生で2名と、男子と比べ人数は多いが、割合としてみるとやはり男子同様に多くはない。

(2) 元気っ子健康体力チェックのアンケート及び国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

(※体力・保健・食・安全について、それぞれ記入する。)

- ・「すききらいをしないで食べていますか」の問いに肯定的な回答が、全校で85%という結果であった。
- ・「交通ルールを守る」「不審者から自分の安全を守る」「安全に行動している」の問いに、全学年とも肯定的な回答が90～100%と意識が高かった。
- ・「健康や体力に自信があると思う。」の問いには、学校全体で84%という結果であったが、学年により100%の学級もあれば、60%であった学級もあり、学年間で大きな差異があった。
- ・「休み時間や放課後、休日などに自分から進んで運動するようにしていますか」の問いには、肯定的回答を答えた児童は81%で、比較的良好に体を動かしていることが分かるが、6年生が一番低く50%という結果であった。ただし、休日に全く運動をしないと答えた児童も男女ともに合わせて9%いる結果であった。
- ・健康関係で1日の睡眠時間の質問を見てみると、3年生以下は8時間以上就寝している児童が一番多いが、4年生以上になると6時間未満の児童が多くなっている。また、健康診断で指摘されたところは、早めに治療しようとしている家庭が多い。

(3) 授業や健康安全・体育的行事等への取組状況から

(※体力・保健・食・安全について、それぞれ記入する。)

- ・地震や火災を想定した避難訓練に真剣な態度で取り組み、災害時の身の守り方についての意識を高めることができてきている。
 - ・清掃の時間で収穫した給食農園の作物は、数日中に給食の材料として使用し、収穫した学年の紹介をしている。
 - ・なかよし田んぼでの田植えと稲刈りは、盲学校との合同で行い、地域の方や保護者の協力のもと実施している。児童は、下級生の面倒を見ながら真剣に取り組んでいる。
 - ・ほとんどの児童は、体育の授業に対して意欲的に取り組んでいる。
 - ・朝の1分間体操は、朝の会に位置づいて徹底してきている。
- (曜日ごとに種目を決め筋力、バランス力を高める運動を行っている。)
- ・体育的行事への取り組みは全体的に意欲的である。特に運動会の時期には、各学年暑い中でも真剣に練習に取り組んでいる。
 - ・かぜやインフルエンザ、ノロウイルスによる感染性胃腸炎等の感染症対策として、保健委員会の活動を通して、手洗い・うがいを徹底し、一人ひとりが予防対策を実行している。

2 今年度の重点目標

- ・運動技能や体力、望ましい生活習慣や食習慣、安全に配慮した行動など、自己を管理できる児童の育成。

3 今年度の取組（「平成30年度指導の重点」に関する取組は文頭に□）

（1）望ましい食習慣の育成

- 家庭訪問，個人懇談などを通して食生活の大切さについて保護者の啓発を図り，改善していく。
また，アレルギーのある児童については，保護者面談を行い適切に対処する。
- 給食室だより・食育だよりの発行（通年）HPでも配信
- 全校給食を実施し，給食指導の充実を図ると共に，食事のマナーや意識の向上を図る。
- 地域生産者や保護者との会食の場を設定し，食育の啓発に役立てる。
- 給食農園を活用し，食農体験活動を引き続き行う。

（2）健康・体力の向上

- ・給食後の歯磨きの徹底（小学校から中学校への継続した実施ができるように工夫する。）
- 児童が健康や食に関する正しい知識を身に付けるべく，養護教諭や学校栄養職員を活用した，保健体育の授業の工夫をする。
- ・保健の学習においては，小中の連携をとって，系統性のある指導ができるように，子供たちの発達の段階を踏まえた内容の体系化を図る。
- 体力テストの結果を踏まえ，朝の「1分間体操」や全校共遊（年6回）を工夫する。毎年課題となっている投力については，元気っ子チャレンジに挑戦するなど目標を設定し，投てき板などを有効活用しながら強化を図っていく。さらに，水泳検定，縄跳び検定等を実施し，目標をもって意欲的に練習に参加し，健康の保持増進と体力の向上を図れるよう工夫する。また，水泳検定の内容については，今年度より地域学校園内共通のものとし，9年間を見通した系統的な指導が行えるようにする。
- 児童の能力・適性，興味・関心等を適切に判断し，児童が自ら運動する意欲をもち，仲間と仲良く運動できるための基礎を確実に育成できるよう体育の時間を工夫する。
- 交通安全教室・不審者を想定した避難訓練・防犯教室の実施。
- PTA生活指導部に依頼し，地域安全マップを作成すると共にその活用を図る（6月）
- 保健だよりの発行（通年）。HPでも配信
- 「ミニmam」をもとにした，基礎的な運動・体力づくりができる場の設定。

（3）家庭・地域との連携協力

- 各種（給食室・食育・保健）だよりの発行を通して，望ましい生活習慣や食習慣を身に付けるための家庭との連携を推進する。（通年）
- 警察スクールサポーターや消防署などと連携した避難訓練（4・6・7・9・1月）の実施。（年合計5回）